

科目名	日本女性論(講義)		科目ナンバー	CL-JC1112		
担当者 (実務経験名)	非常勤講師 井手靖子					
履修期	2年 前期		卒業単位	選択 2単位		
免許・資格						
授業概要	現在の日本社会で女性が置かれている立場や直面している問題を知り、現状に至るまでの流れと今後の女性のあり方について、自ら志向することができることを講義目的としている。 また今後の日本社会の中で、女性のみならず多様な「性」のあり方についても考えていく。 なお、受講生の理解や関心に応じて講義内容を変更することもあり得る。					
到達目標	知識・理解	女性とは社会的にどのように意味づけられた存在か、また日本で女性はそのような状況におかれているか、地震に関わる問題として理解できるようになる。				
	思考・判断	女性をめぐる状況を歴史的に分析し、思考することができるようになる。				
	興味・意欲・態度	自らに関わるものとして講義内容に向き合い、「女性であること」が何を意味するのか、「女性として生きること」をどう受けとめるか、を明確に意識することができるようになる。				
	技能・表現	予習・復習に積極的に取り組み、日本社会のジェンダー問題を的確にとらえ、議論を展開することができるようになる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容			時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション	シラバスを参照し、講義内容を把握し、特に興味ある点を明確にしておくこと			4
	2	家族(1) — 家族をめぐる変容	日本の家族の変容過程を調べておく			4
	3	家族(2) — 就業と家事負担	日本女性の就業と家事負担の実態を調べておく			4
	4	家族(3) — 育児をめぐる女性の負担と男性の負担	育児における女性の役割と男性の役割を調べ、男性の育児参加についての現状をまとめておく			4
	5	家族(4) — 日本における家事育児の現状	日本の家事育児の負担の現状を世界比較の中でどう評価すべきかを調べておく			4
	6	結婚(1) — 法律婚	法律婚におけるメリット・デメリットを調べておく			4
	7	結婚(2) — 事実婚	事実婚とはどういうものか、またそのメリット・デメリットを調べておく			4
	8	結婚(3) — 夫婦同姓制と夫婦別姓制	夫婦同姓制と別姓制の具体的内容を調べ、現状を把握しておく			4
	9	結婚(4) — 嫡出子と非嫡出子	嫡出子と非嫡出子の違いを明確にし、非嫡出子が現代日本においてどのような立場に在るかを調べておく			4
	10	結婚(5) — 結婚の意義	これまでの講義を踏まえ、「結婚する」ことの意義をまとめておく			4
	11	映画鑑賞	これまでの講義内容を振り返り、現代日本の女性がどのような問題に直面しているかをまとめておく			4
	12	女性天皇論(1) — 明治期における嫡出問題	明治期において天皇家の後継問題としてどのようなものがあったかを調べておく			4
	13	女性天皇論(2) — 大正・昭和期における嫡出問題	大正・昭和期において天皇家の後継問題としてどのようなものがあったかを調べておく			4
	14	女性天皇論(1) — 現在の後継問題	「女性天皇」と「女系天皇」の違いを調べておく			4
	15	総括	これまでの講義を踏まえ、日本の女性が抱える問題点をまとめておく			4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○	○	○	80%
	レポート	○	○	○	○	20%
	課題					
	実技					
	受講状況・態度 その他( )					
フィードバックの方法	レポート・試験について、口頭でフィードバックします。					
教科書	特に必要ありません。講義内においてプリントを用意します。					
参考書	講義内において適宜紹介します。					
アクティブ・ラーニング	講義中ないし講義後に講義内容の理解度チェックを行う場合があります。必要に応じ、グループ・ディスカッションの時間を設け、受講生が積極的に講義に取り組み、思考を高めるよう促します。					
ICT活用	なし					
メッセージ・備考	講義内容を自らの問題として受け止め、社会の出来事や女性の人権・ジェンダーに関する国内外のニュースを注視してください。また、講義に際しては積極的に参加・発言することを望みます。					
関連科目	女性と家庭・社会生活					